

# 断水時・停電時の タカラエコキュート・タカラ電気温水器の使用方法について

## <目次>

タカラエコキュート・タカラ電気温水器「停電時および復旧時」のお願い	・・・	2
角型（配管内臓）： おたすけコック（非常用水コック）の使用方法	・・・	4
角型（配管内臓）： 濁り水が出た時の対処法	・・・	6
角型（配管内臓）： 貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法	・・・	7
丸型　： おたすけコック（非常用水コック）の使用方法	・・・	8
丸型　： 濁り水が出た時の対処法	・・・	10
丸型　： 貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法	・・・	11

**Takara standard**

2018.7

# タカラエコキュート・タカラ電気温水器 「停電時および復帰時」のお願い

タカラエコキュート・タカラ電気温水器の「停電時および復帰時の操作」をご案内致します。  
機種毎に操作の内容が異なりますので、下表を参照し操作願います。

## ①停電中のお湯のご使用について

停電中にお湯を使用されたい場合、機種により停電開始時刻の少し前にお湯を出していただく必要があります。対象機種とお湯を出していただく時間は、下記の表をご参照ください。

## ②停電復帰後の操作について

時計機能のある機種については、コントローラ又はタンク本体の時計表示時刻が正常であるか確認して下さい。時刻が正しく設定されていないと電力料金が割高になることがあります。

又、時刻の表示がない場合は、再設定していただく必要があります。時刻が設定されていないとお湯が沸きません。機種毎に停電復帰時の操作内容が異なりますので、下表を参照し操作願います。

### 1.エコキュート

	シリーズ	発売年月	停電前の操作のお願い	停電復帰後の操作のお願い	
				コントローラの時計が動いている場合 (現在時刻が表示されている場合)	コントローラの時計が“—:—”の場合 (「現在時刻を設定してください」と表示されている場合)
1	EQS3701UFA-**	2004.9～2005.8	停電開始前3時間以内に一度水栓からお湯を出してください。 3時間以内にお湯の使用実績がなければ、停電中は給湯できません。	特に操作は必要ありません。	時計の再設定をお願いします。
2	EQS3702UFA-** EQS4602UFA-**	2005.9～2006.9			
3	EQS3703UFA-NS EQS4603UFA-NS	2006.9～2008.2			
4	EQS3704UFA-** EQS4604UFA-** EQS3704XUFA-** EQS4604XUFA-**	2008.2～2010.3	操作は必要ありません。	特に操作は必要ありません。	時計の再設定をお願いします。
5	EQS3004UFA-**	2008.4～2011.4			
6	EQS3705UFA-** EQS4605UFA-**	2010.3～2011.4			
7	EQS3006UFA-** EQS3706UFA-** EQS4606UFA-**	2011.4～2012.11			
8	EQS4606UZZ-**	2012.4～2012.11			
9	EQS3007UFA-** EQS3707UFA-** EQS4607UFA-**	2012.9～2015.1			
10	EQS4607UZZ-**	2012.11～2015.4			
11	EQS3008UFA-** EQS3708UFA-** EQS4608UFA-**	2015.1～			
12	EQS3708U-** EQS4608U-**	2015.3～			
13	EQS4608UZZ-**	2015.10～			
14	EQS3709UFA-** EQS4609UFA-**	2016.12～			
15	EQS2009U-** EQS3709U-** EQS4609U-**	2016.12～			
16	EQS4609UZZ-**	2016.12～			

※時計の再設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照願います。

## 2.電気温水器

	シリーズ	発売年月	停電前の操作のお願い	停電復帰後の操作のお願い	
				コントローラの時計が動いている場合 (現在時刻が表示されている場合)	コントローラの時計が“—:—”の場合 (「現在時刻を設定してください」と表示されている場合)
1	EM-**3K(U)-SA	2000.7～2003.11	停電開始前 20 分以内に一度水栓からお湯を出してください。 20 分以内にお湯の使用実績がなければ、停電中は給湯できません。	特に操作は必要ありません。	時計の再設定をお願いします。
2	EM-**4KGU-FA	2002.12～2007.8	停電開始前 3 時間以内に一度水栓からお湯を出してください。 3 時間以内にお湯の使用実績がなければ、停電中は給湯できません。	特に操作は必要ありません。	時計の再設定をお願いします。
3	EM-**32K(U)-SA	2003.12～2008.9			
4	EM-**5KGU-FA	2007.9～2010.12			
5	EM-**33K(U)-SA	2008.9～2013.5			
6	EM-**52KU-FA	2010.12～2013.5			
7	EM-5652KU-ZZ	2010.12～2013.5	操作は必要ありません。	特に操作は必要ありません。	時計の再設定をお願いします。
8	EM-**34K(U)-SA	2013.5～			
9	EM-**53KU-FA	2013.5～			
10	EM-5653KU-ZZ	2013.5～	操作は必要ありません。	特に操作は必要ありません。	時計はタンク本体にあります。 時計の再設定をお願いします。
11	EM-**2KGR	1998.11～2009.8			
12	EM-**23K(K)-R	2009.9～2013.5			
13	EM-**24K(K)-R	2013.2～			
14	EM-**0SN	1990.11～1998.4	操作は必要ありません。	特に操作は必要ありません。 (時計のない機種もあります。その場合操作の必要はありません。)	時計の再設定をお願いします。
15	EM-**1DS	1997.9～2001.9			
16	EM-**1S	1998.3～2001.9			
17	EM-**1KG	1998.10～2008.10			
18	EM-**12S	2001.9～2008.8			
19	EM-**12DS	2001.9～2002.12			
20	EM-**13S	2008.11～			
21	EM-**13K EM-**13K-R	2008.11～2013.5			
22	EM-**14K(U) EM-**14K-R	2013.5～			
23	ED-**0ES	1988.5～1998.4	操作は必要ありません。	時計はありませんので、操作は必要ありません。	
24	EM-**0S	1988.5～1990.10			
25	EM-**0LS	1989.5～1998.4			
26	EM-470LSL	1990.1～1991.7			
27	ED-**1ES	1998.3～2001.9			
28	ED-**12ES	2001.9～2006.3			

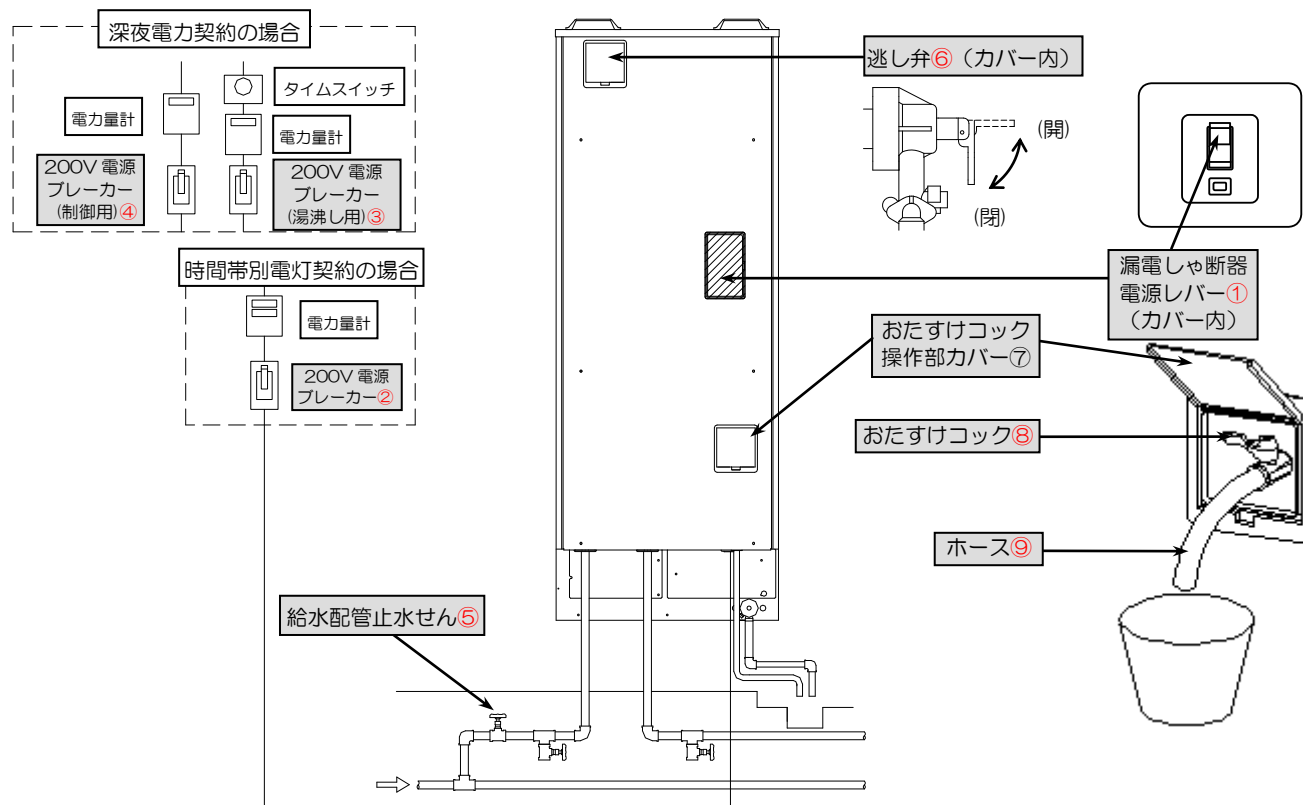
※時計の再設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照願います。

## おたすけコック（非常用水コック）のご使用方法

機種により形状は多少異なります

### 警告

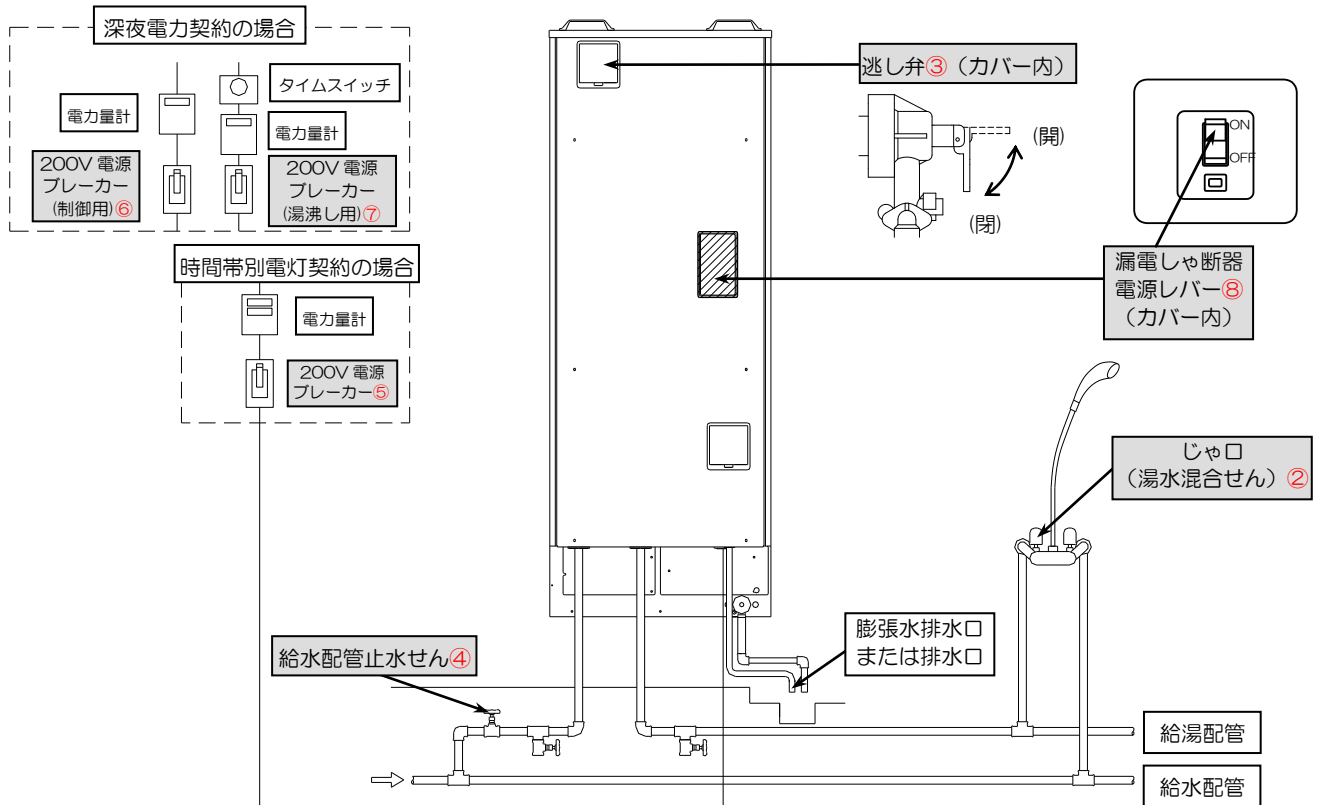
■おたすけコックから熱い湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。



- 1 漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。  
(機種によっては2個ある場合もあります。この場合は2個とも「切」にします。)
- 2 200V電源ブレーカー②、(深夜電力契約の場合は③、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源(200V電源)が接続されている場合は④も)を「切」にします。
- 3 給水配管止水せん⑤を閉めます。
- 4 逃し弁の操作部カバー(前面ケースに取付け)を開けて、逃し弁⑥のレバーを上げます。
- 5 おたすけコック操作部カバー⑦を開けて、ホース⑨を引き出します。
- 6 ホース⑨の下にバケツなどを準備し、おたすけコック⑧を開けます。  
タンク内の水(湯)が出てきます。
- 7 使用後は、おたすけコック⑧を閉じ、ホース⑨から水(湯)が出ていないことを確認してからホース⑨を戻してください。  
おたすけコック操作部カバー⑦を元に戻してください。

【お知らせ】 給湯機を再使用するときは、取扱説明書を参照ください。

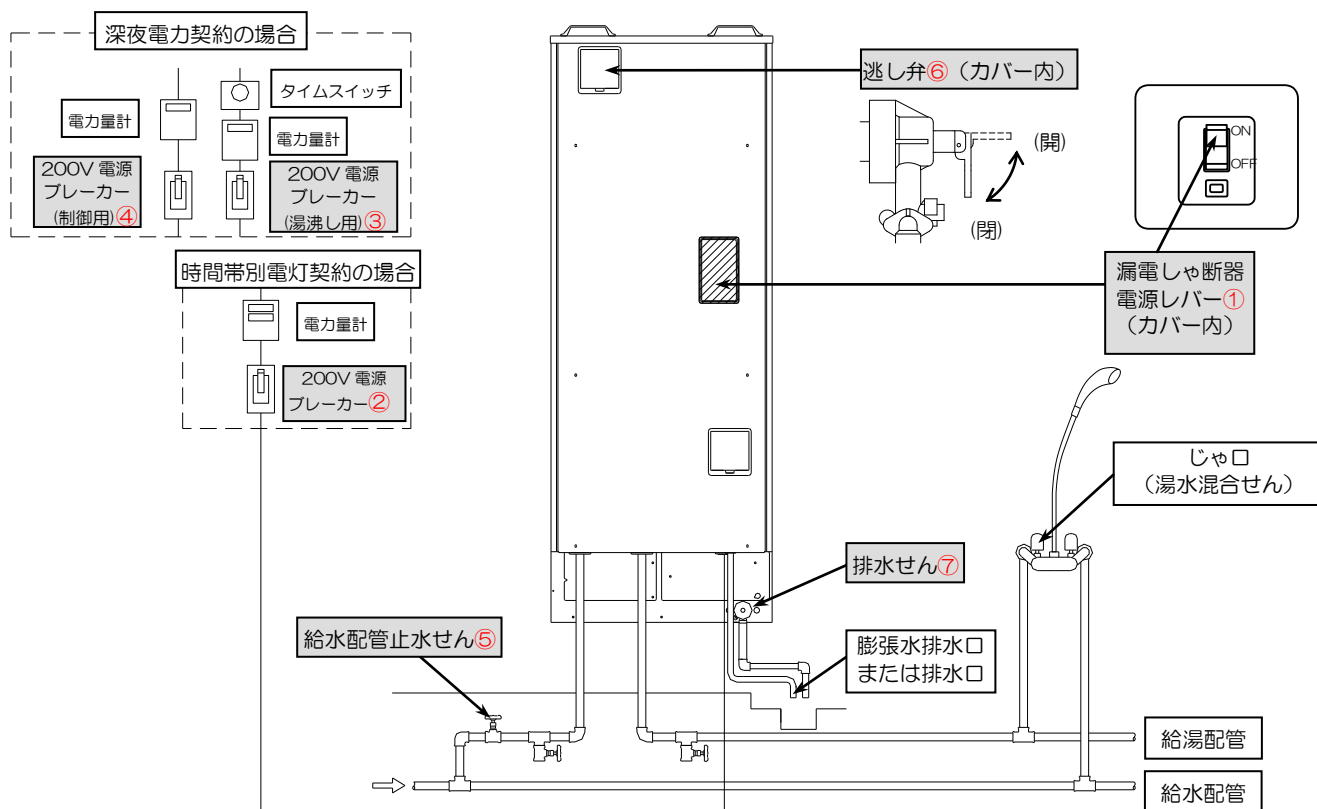
# 機器を再使用するときは



1. じゃ口（湯水混合せん）②を水側全開にして、きれいな水が連続的に出ることを確認します。
2. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。
3. 逃し弁の操作部カバー（前面ケースに取付け）を開けて、逃し弁③のレバーが上がっていることを確認します。
4. 給水配管止水せん④を開けます。
5. 膨張水排水口または排水口から勢いよく出てきたら、逃し弁③のレバーを下げます。
6. じゃ口（湯水混合せん）②を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
7. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。  
（やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください）
8. 200V電源ブレーカー⑤、（深夜電力契約の場合は⑦、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は⑥も）を「入」にします。
9. 漏電しゃ断器電源レバー⑧を「入」にします。  
（機種によっては2個ある場合もあります。この場合は2個とも「入」にします）

## 濁り水が出た時の対処方法

1. 水専用の水せん（単水栓）を開き、汚れた水や空気が出なくなるまで水を出します。  
汚れがなくなったら水せんを閉じます。
2. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。  
（機種によっては2個ある場合もあります。この場合は2個とも「切」にします）
3. 温水器用の200V電源ブレーカー②（深夜電力の場合は③、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は④も）を「切」にします。
4. 給水配管止水せん⑤を閉めます。
5. 逃し弁の操作部カバー（前面ケースに取付け）を開けて、逃し弁⑥のレバーを上げます。
6. 排水せん⑦を開きます。
7. タンク内の水がすべて抜けたら（排水が出なくなったら）、給水配管止水せん⑤を開けて2～3分程度給水します。
8. 排水される水に濁りなどの汚れがないことを確認します。水がすべて抜けたら「貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法」に従い、給水してください。

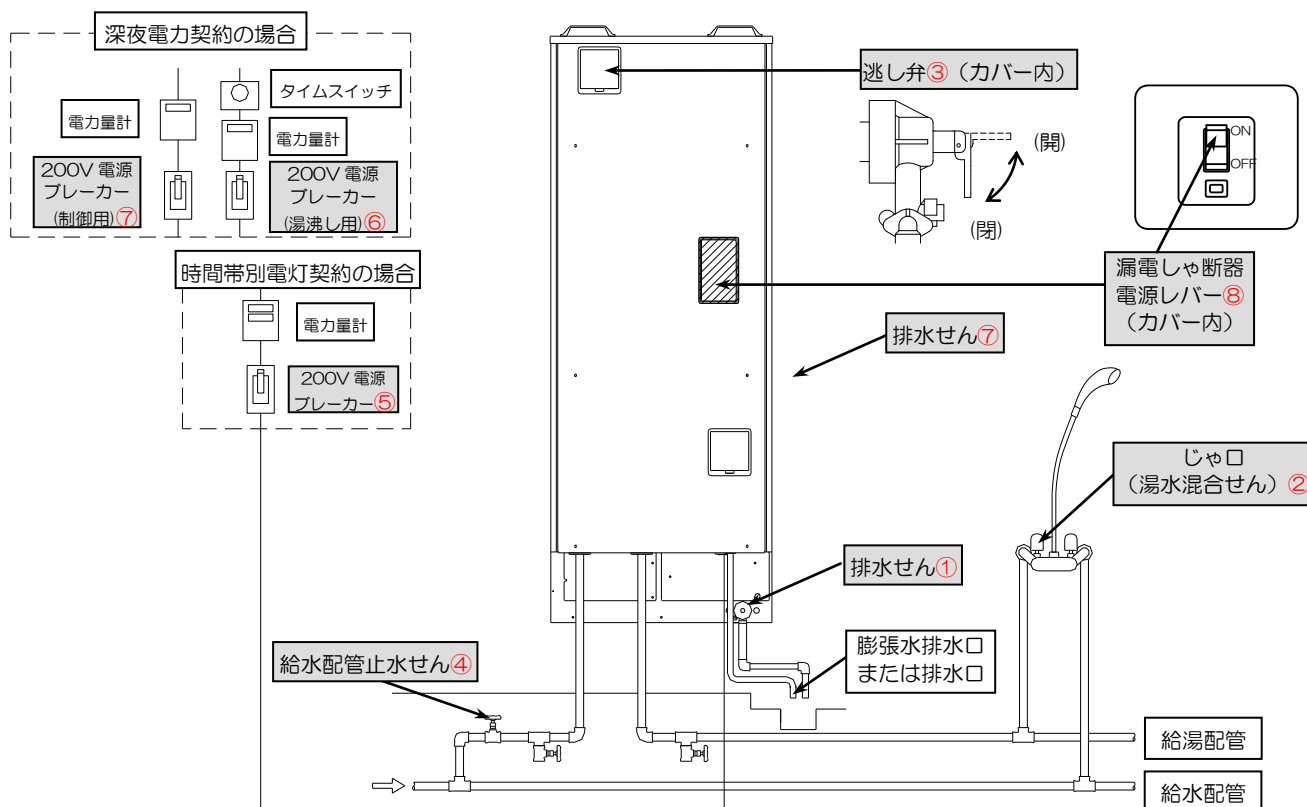


### ⚠ 注意

- 作業時は熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。
- 作業時は排水せんのハンドルやレバー以外の部分やお湯に手を触れないでください。

## 貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法

1. 排水せん①を閉じます。（閉じていることを確認します）
2. じゃ口（湯水混合せん）②を水側全開にして、きれいな水が連続的に出ることを確認します。
3. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。
4. 逃し弁の操作部カバー（前面ケースに取付け）を開けて、逃し弁③のレバーが上がっていることを確認します。
5. 給水配管止水せん④を開けます。
6. 膨張水排水口から勢いよく出てきたら、逃し弁③のレバーを下げます。
7. じゃ口（湯水混合せん）②を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
8. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。  
（やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。）
9. 200V電源ブレーカー⑤、（深夜電力契約の場合は⑥、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は⑦も）を「入」にします。
10. 漏電しゃ断器電源レバー⑧を「入」にします。  
（機種によっては2個ある場合もあります。この場合は2個とも「入」にします）

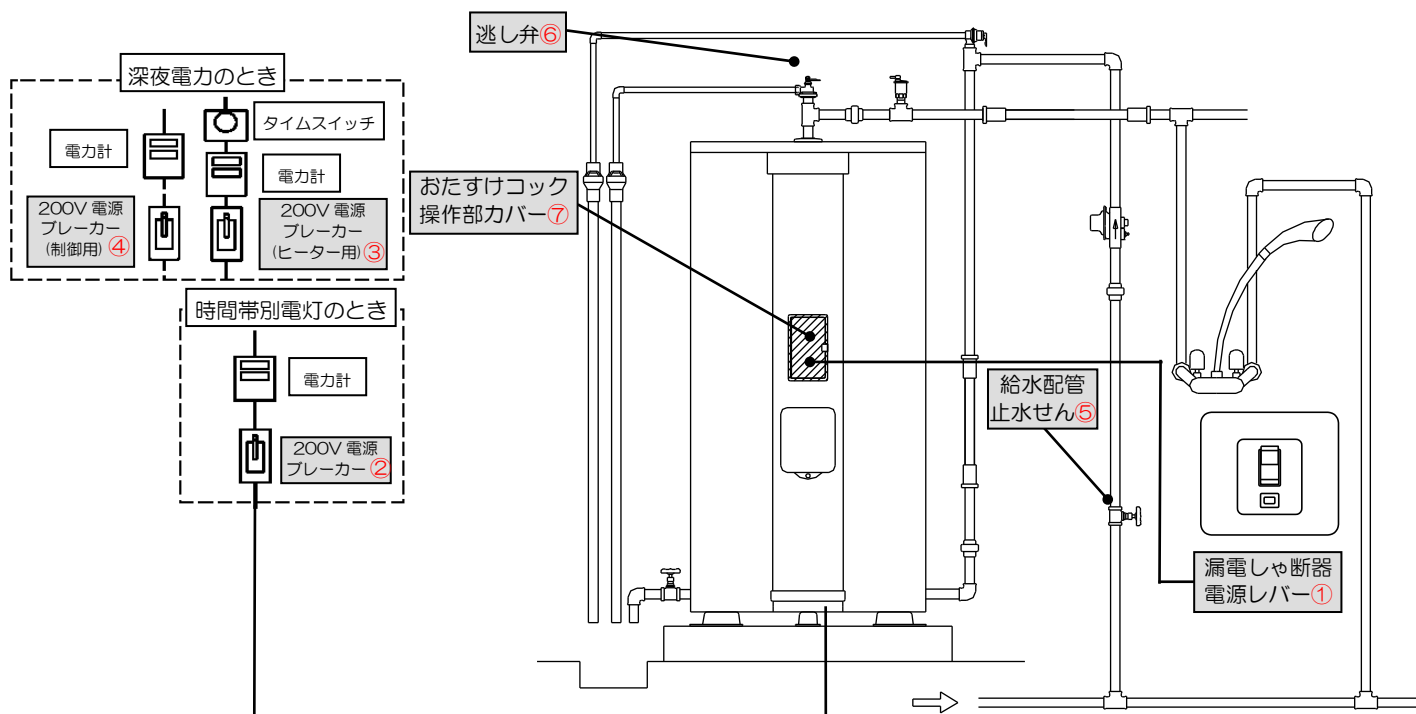


## 丸型の場合

### おたすけコック（非常用水コック）のご使用方法

#### ⚠ 注意

■おたすけコックから熱い湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。



- 1 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。
- 2 温水器用の200V電源ブレーカー（時間帯別電灯の場合は②、深夜電力の場合は③、ただしコントローラありの場合は④も）を「切」にします。
- 3 給水配管止水せん⑤を閉めます。
- 4 逃し弁⑥のレバーを上げます。
- 5 おたすけコック操作部カバー⑦の下部または両側にある止めねじをはずし、おたすけコック操作部カバー⑦を少し持ち上げるようにしてはずします。
- 6 おたすけコック⑧の下にバケツなどを準備し、おたすけコック⑧の水せんを開けます。タンク内の水（湯）が出てきます。使用後は、おたすけコック⑧が閉じていることを確認し、おたすけコック操作部カバー⑦を元に戻してください。

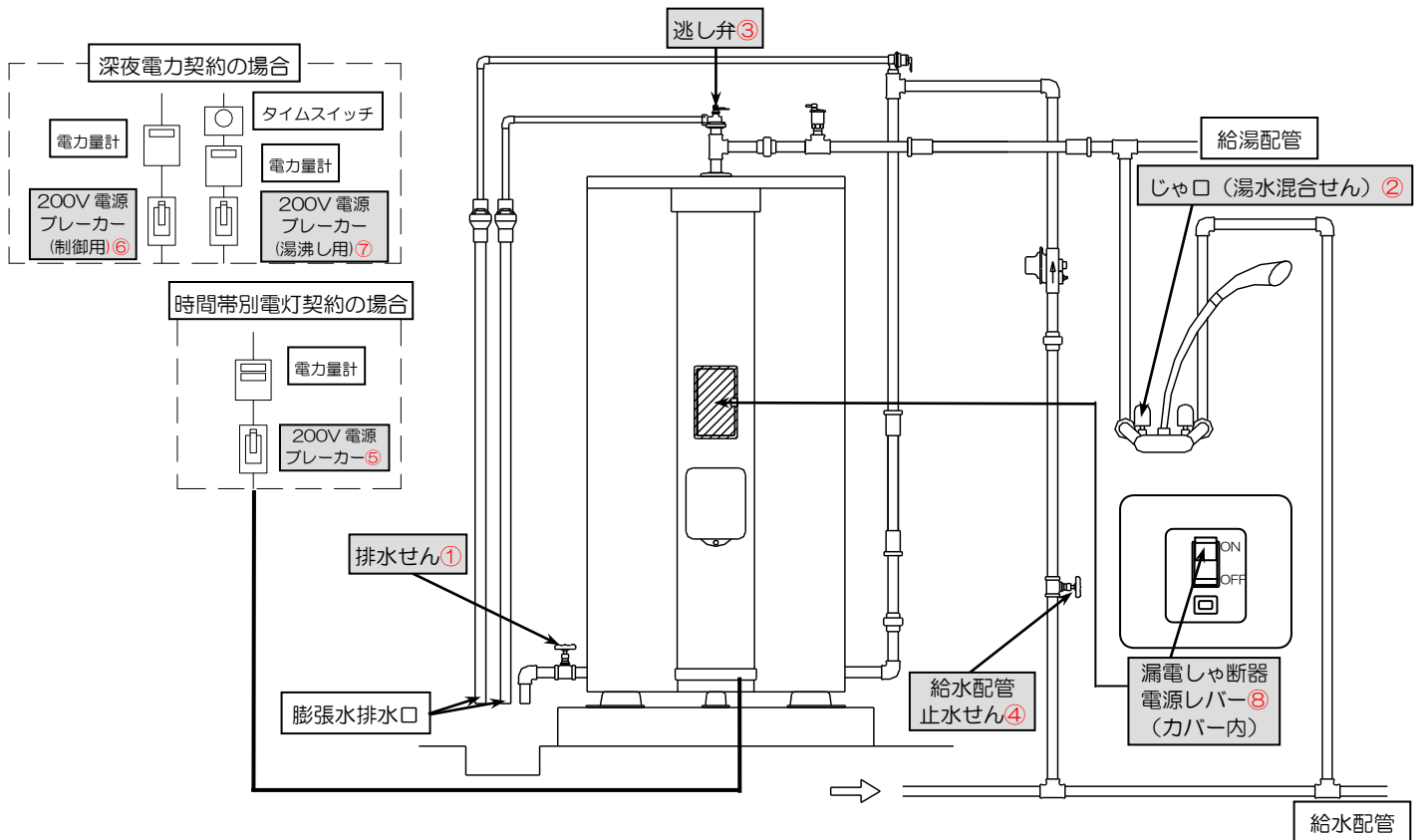
おたすけコック⑧



【お知らせ】 給湯機を再使用するときは、取扱説明書を参照ください。



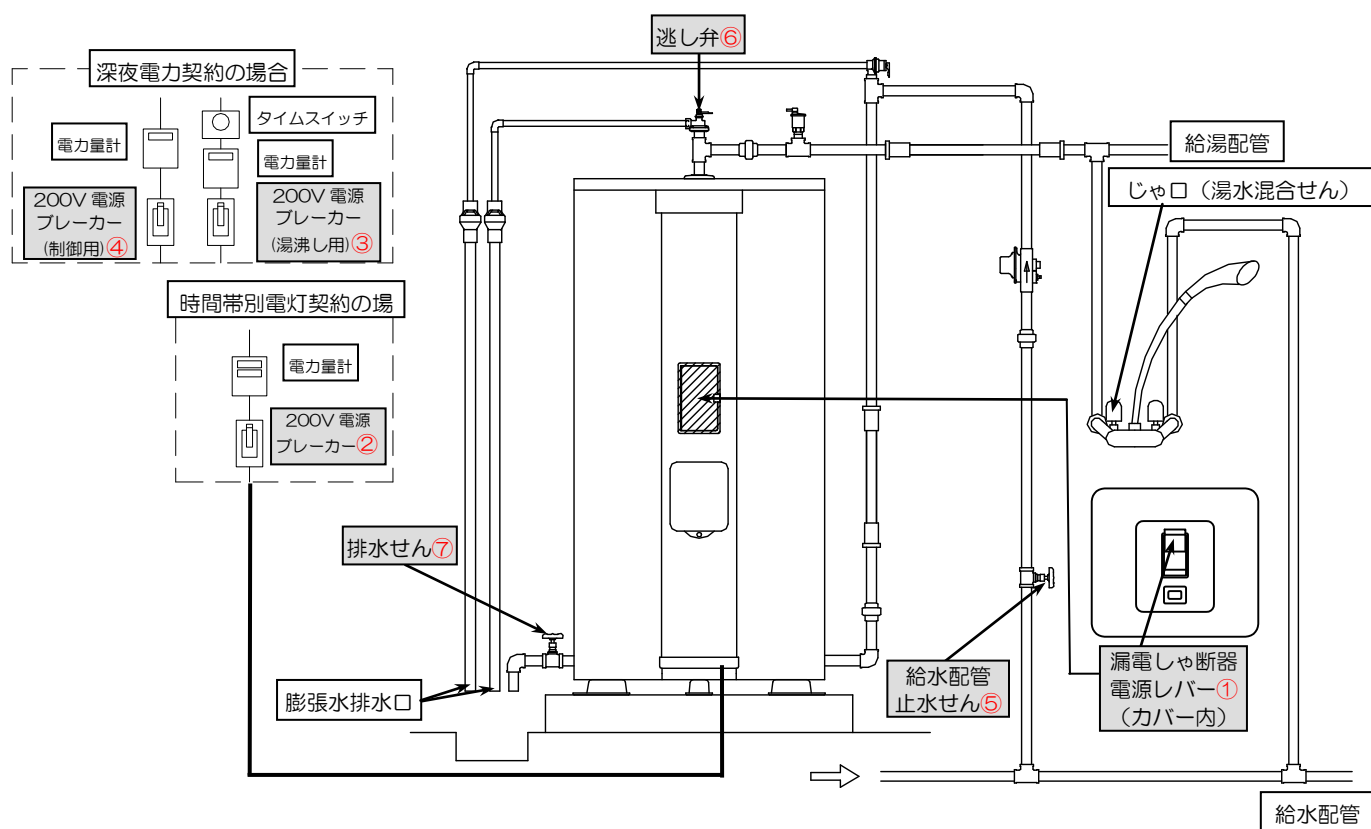
## 機器を再使用するときは



1. じゃ口（湯水混合せん）②を水側全開にして、きれいな水が連続的に出ることを確認します。
2. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。
3. 逃し弁③のレバーが上がっていることを確認します。
4. 給水配管止水せん④を開けます。
5. 膨張水排水口から勢いよく出てきたら、逃し弁③のレバーを下げます。
6. じゃ口（湯水混合せん）②を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
7. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。  
(やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。)
8. 200V電源ブレーカー⑤、（深夜電力契約の場合は⑦、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は⑥も）を「入」にします。
9. 漏電しゃ断器電源レバー⑧を「入」にします。

## 濁り水が出た時の対処方法

1. 水専用の水せん（単水栓）を開き、汚れた水や空気が出なくなるまで水を出します。  
汚れがなくなったら水せんを閉じます。
2. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。
3. 温水器用の200V電源ブレーカー②（深夜電力の場合は③、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は④も）を「切」にします。
4. 給水配管止水せん⑤を閉めます。
5. 逃し弁⑥のレバーを上げます。
6. 排水せん⑦を開きます。
7. タンク内の水がすべて抜けたら（排水が出なくなったら）、給水配管止水せん⑤を開けて2～3分程度給水します。
8. 排水される水に濁りなどの汚れがないことを確認します。水がすべて抜けたら「貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法」に従い、給水してください。



### ⚠ 注意

- 作業時は熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。
- 作業時は排水せんのハンドルやレバー以外の部分やお湯に手を触れないでください。

## 貯湯タンクの水抜き後、給湯機器の復帰方法

1. 排水せん①を閉じます。（閉じていることを確認します）
2. じゃ口（湯水混合せん）②を水側全開にして、きれいな水が連続的に出ることを確認します。
3. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。
4. 逃し弁③のレバーが上がっていることを確認します。
5. 給水配管止水せん④を開けます。
6. 膨張水排水口から勢いよく出てきたら、逃し弁③のレバーを下げます。
7. じゃ口（湯水混合せん）②を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
8. じゃ口（湯水混合せん）②を閉じます。  
（やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。）
9. 200V電源ブレーカー⑤、（深夜電力契約の場合は⑥、および、深夜電力、時間帯別電灯共に、制御用電源（200V電源）が接続されている場合は⑦も）を「入」にします。
10. 漏電しゃ断器電源レバー⑧を「入」にします。

